

札幌大谷大学同窓会

OTANI しんしんかい 真心会

同窓会だより

第46号 令和4年10月1日発行

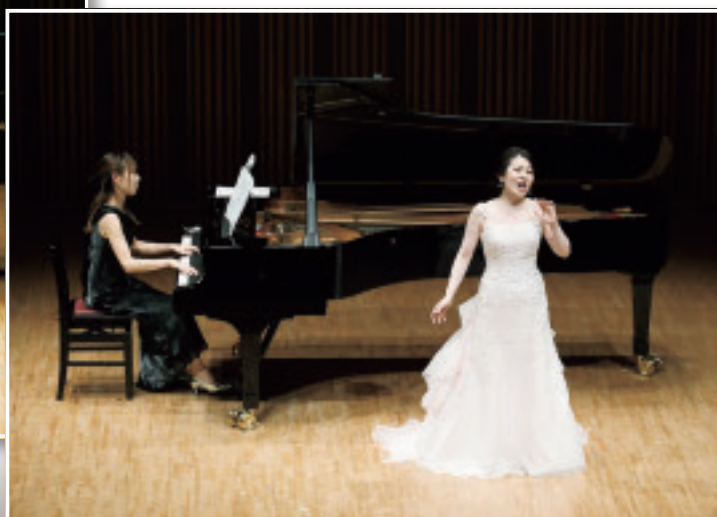
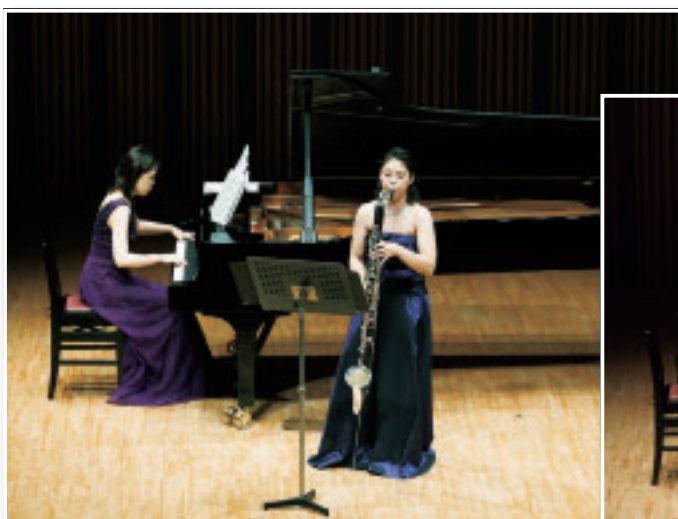
〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

ootanisinsinkai@gmail.com

第43回谷の音会コンサート 令和3年11月7日(日) キタラ小ホール





札幌大谷大学 学長 千葉 潤

日頃より、本学の教育研究活動に對しまして、同窓生の皆さまから厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

二〇二二年度は、どの学部・学科とも昨年度を上回る新入学生を確保することができました。特に美術学科はこの数年間、入学定員を遥かに上回る入学者を確保しており、道内屈指の美術学科としてのブランドを定着させています。また、音楽学科では音楽系のキャリア教育に特化した「音楽総合コース」が四年目を迎え、学生が中心となって学外での演奏会を企画するアウトリーチ活動を実施予定です。また、社会学部では出口保証を強化する四コース制を導入したほか、第一期生以来七年連続で就職率一〇〇%を達成いたしました。そして二〇二一年に開設六十周年を迎えた短期大学部保育科では、これまでの実績と教育方針を堅持しつつ、より多様な学生の獲得を目指して「総合型入試」を導入しました。

withコロナの大学生活も三年目を迎え、今年は感染予防対策を徹底しながらも、できる限り対面形式での授業を再開いたしました。同時に、この二年間の遠隔授業の経験を活かして、より高い

学修効果が期待できる授業に関しては、オンライン授業やオンデマンド授業も一部で継続しております。徐々にはありますが、大学の構内では学生どうしの声が弾む、活気のある大学生活が戻ってきたことを実感しております。しかし一方では、この二年間の様々な制約から、人間関係づくりや勉学のモチベーションに関して困難を感じる学生も少なからず存在しており、より一層きめ細やかな学生対応の工夫が求められております。大学の第一期生も卒業から十二年が経ち、社会人としての成長ぶりを見せてくれることも多くなりました。新しい同窓生共々、今後とも、皆さまからのご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美 (音楽科14期)

この夏、コロナウイルス感染者数が過去最多を更新し、未だ収束の見えない状況が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年十一月七日、満席のお客様をお迎えして開催しました第四十三回谷の音会コンサートは、出演者の熱い演奏に会場から惜しみない拍手が送られ、感動に包まれながら無事終了しました。さまざまな制限のある中での開催となりましたが、出演者、お客様共に大変協力的で最後までスムーズに進めることができました。

今年五月二十二日に行われました総会は二年ぶりに対面開催とし、重要議題も出席者の皆様全員が納得する形で解決でき、大変有意義な時間を共有できました。

同窓会本部は来年二〇二三年に設立六十周年を迎え、八月十一日(金・祝)に懇親会を開催いたします。(一一時～一四時 於…ホテル札幌ガーデンパ

レス)

各学科から実行委員もすでに選出されており、これから本格的に始動いたします。現職の先生方はじめ、退職された先生にもお声がけいたします。皆様には是非今からご予定に入れていただきたくお願い申し上げます。

二〇二三年六月二十日(二十五日)の谷の会展、秋には第四十四回谷の音会コンサートを開催いたします。美術科、美術学科卒業生の皆様、作品出展のご準備をよろしく願っています。また音楽科、音楽学科卒業生の皆様にはあらためまして詳細をお知らせいたします。

同窓会活動も六十年の基盤に今後はさらに若い方達の力、勢いが必須です。世代が広がる中、「保」「音」「美」「社」の卒業生が期、科を超えた交流が増えますことを願っております。今後とも同窓会活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



芸術学部学部長
音楽学科長
三山 博司

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。私は今年度より音楽学科長を拝命いたしました三山博司でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この一年もコロナ禍で、演奏を主とする学生の割合が多い音楽学科は特に大変な日々を過ごしてきました。その中においても学生と教職員が協力し、工夫を重ねて感染予防対策をしながら実技レッスンや演習に加えて、定期演奏会をはじめとするいろいろな演奏会を開催することが出来ました。

今年三月の卒業生はこのような困難な状況下でありながら、就職率が九十五・五%という高い結果となりました。これは大変喜ばしい事であり、またここ数年、数多くの採用試験合格者を輩出してきた教職課程を一手に担ってこられた勝谷友一先生



芸術学部 美術学科長
鳥宮 尚道

が昨年五月に急逝され、学生も教職員も深い悲しみに打ちひしがれました。しかし今年の四月より、勝谷先生がご自分の後継者にと期待しておられた萬司先生をお迎えして、勝谷先生のご遺志を継いで音楽学科の教職課程の更なる成果をあげていかんと気持ちを新たにしております。

さて音楽学科の学生募集は年々厳しさを増しておりますが、今年度の新入生は定員六十名のところ、六十三名と一名の編入生を迎えることが出来ました。新入生の中には、卒業生の下で学ばれた学生が何人もいて、大谷の積み上げてきた歴史と伝統を強く感じるところです。

これからも教員一丸となつてより良い教育活動に邁進してまいりますので、どうか今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

美術学科は今年度、芸術学部美術学科として十周年となりました。同窓会の皆様にはこれまで温かく見守っていただき、心から感謝申し上げます。

あつという間に過ぎた年月ですが、多くの学生を迎え入れ、送り出し、その中で一人一人、一つ一つのできごとが今の美術学科を作り上げてくれました。改めて感謝申し上げます。

この二年間はコロナ禍で多くの制限を設けざるを得ず、学生たちにも苦勞をかけたが、今年度は皆様がそうであったように、学内で多くの学生が制作に取り組むことができるようになりました。卒業制作展をはじめ市内ギャラリーなどでの学生作品展示、公募展や国内外のコンペでの学生たちの受賞、歩みを止めず今できることに真摯に向き合い取り組んだ学生たちの成果も現れています。

道内各地に出向いた高校生たちへの指導も再開しています。表現すること

の魅力や楽しさ、そしていま世の中でアートが注目されるようになった背景などを伝え、美術を学ぶことの価値を考え広めています。

昨年度は新たに、グラフィック・イラスト専攻に戸澤逸美先生、版画専攻に吉田潤先生、情報・プロダクトデザイン専攻に宮本一行先生が専任教員として加わり、さらに充実した授業を展開しています。これからも前に進み、社会に貢献できる大学として成長していきたいと思えます。今後ともご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。





社会学部長
地域社会学科長
和田 佳子

コロナ禍で静まりかえっていたキャンパスにも、ようやく学生たちの賑やかな声が響くようになりました。気づけば、社会も大学も大きな変化の時を迎えています。二〇二二年に開設した

本学部は今年十一年目を迎え新たなステージに入りました。四十四名でスタートした一期生、部員一名から始まった硬式野球部、地域との繋がりを求めて学生と教員が協働で模索した学外活動など、「十年一昔」の思いがいたします。一期生の就活時にはOB・OGがいない中で、大奮闘の末に目を見張る実績を残してくれたことは特に印象的です。それが礎となつて、今では「就職に強い社会学部」がブランドの一つになり始めています。今年の入学者は六十七名、野球部員は総勢五十名を超えて一部リーグで活躍中です。学びのフィールドは道内各地に広がり、社会学をベースに行政・法律・経済・経営、教育・福祉、観光・メディアの

四つのコースで学びを深めています。

卒業生たちからは、異動・昇進・転職・結婚・出産など様々な報告が届くようになりました。仕事のスキルアップのために大学院で学び始めたり、オンラインで資格講座に挑戦し始めたという声も聞いています。本学部でも時代の要請に応じて、卒業生たちの学び直しを応援するためのリカレント講座やリスキリングの機会を提供していきたくいと計画中です。皆さんの社会での活躍をお祈りするとともに、新時代に入った社会学部へのご支援を引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



短期大学部学部長
保育科学科長
田中 住幸

同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。三月の学位授与式、修了証授与式を迎え、短期大学部保育科は九十九名、専攻科保育専攻は七名の者が卒業・修了致しました。進学をした者二十二名を除く就職率は一〇〇%でした。新型コロナウイルスの感染拡大の始まりと共に、学生生活がスタートしたような学年ではありましたが、仲間と励まし、支え合い、保護者の皆様や、実習でお世話になった園や施設の方々のご支援のもと、無事にそれぞれの二年間を過ごすことができました。

さて、六月十五日に「こども家庭庁設置法案」と「こども基本法案」が成立し、二〇二三年四月からは「こども家庭庁」の設置が決まりました。一九九四年に日本政府が「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」に批准して以降、約三十年越しの動きです。虐待や貧困など、喫緊のこども

を巡る社会課題の解決に取り組むことはもちろんのこと、こどもが意見を表明しやすい仕組みをつくり、全てのこどもが参画できる、持続可能なこどもまんなか社会を実現していこうということです。そういった社会の動きを受ける中、確かな理論と技術、豊かな実践経験、そして愛情あふれるこどもたちへの想いを持った保育者を育てていくことが、本学科の何よりも使命であると、改めて強く感じております。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



釧路支部



支部長 泉 洋子

音楽科12期

「設立35周年行事を終えて」

なかなか収まらないコロナと世情不安の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。些かすり減った神経となぜか達観したような思いの中で毎日を過ごしているように思います。

さて釧路支部は今年設立三十五周年を迎えることができました。これも偏ひとよに大学、同窓会本部各位、そして支部会員のご理解、ご協力がなければ成り立たないものと、ここに深く感謝申し上げますと存じます。

本年は五月に三年ぶりに通常通りの総会を行い、七月にはこれも三年ぶりの合唱祭のステージに立つ事が出来ました。そして九月十一日には周年行事として、母校の講師をお務めになる外山啓介氏をお招きする事が叶い、設立三十五周年記念外山啓介ピアノリサイタルを開催いたしました。

この文章を皆さまに読んでいただけると想像いたしておられる演奏の余韻に浸っているものと想像いたしております。

何の憂いもなく行動できたり生活できる事、あたりまえの幸福が如何に大切かがここ数年で思い知らされ、下を向くことが多かった気がしますが、顔を上げて少し忘れていた心打つもの、美しいものに眼と心を向けたいですね。

皆さまのご健康をお祈りいたします。

十勝支部



支部長 植松 恵

音楽科13期

「出会いのために」

何気ない毎日を送っている中で、この三年間を振り返ってみますと、あまりにもそれまでの生活と違うという事を思い知らされます。様々な方との出会いやふれあいが確実に少なくなったという事です。

同窓会の活動もほとんどできない状態でした。今年こそ、以前の状況に戻ったら、今年こそ… そう思いながら時間が過ぎていきました。しかし、この状況はまだまだ続きそうです。足踏みはしていられませんが、そんな中でも、できることを探していかなければならないのだと思っております。

十勝支部は、昨年度、創立十五周年を迎えましたが、コロナ禍の中、記念行事を今年度に延期いたしました。今年度、十月二十八日に、大学より三山博司先生、谷本聡子先生、グレブ・ニキティン先生、外山啓介先生をお迎えし、記念演奏会を開催いたします。リストと織りなす糸々というタイトルで、リストの曲を中心としたコンサートです。声楽、ピアノ独奏、ヴァイオリン独奏、ピアノ連弾と盛りだくさんで大変興味深いコンサートです。来帯して下さる先生方には感謝の気持ちでいっぱい입니다。

素晴らしい演奏会になりますように、十勝支部一同、たくさんの方のご来場をお待ちしております。この行事を通して、会員の輪を深められれば幸いです。お待ちしております。

オホーツク支部



支部長代理 小森 洋子

音楽科12期

「オホーツク支部の近況」

二〇二〇年一月から続くコロナ禍も第七波を迎える昨今ですが、同窓生の皆さまは如何お過ごしでしょうか。

さてこの度、七年間オホーツク支部を支えて下さった横島支部長がご退任となり、支部長代理という形で支部活動に関わらせていただくことになりました。前支部長・札幌在住の小森でございます。

オホーツク支部ここ二年間の活動ですが、ロビーコンサート、響流セミナー以降、様々な活動が制限され、総会を含めた支部活動も自粛せざるを得なくなりました。本来ならば新役員選出につきましても支部総会で決定となりますが、大学・同窓会本部とも相談いたしました。私が支部長代理に、前支部役員数名が留任という形になりました。オホーツク支部の皆さまへも紙面での報告となりました。お詫び申し上げます。

オホーツク地方にいらっしゃる役員・支部の皆さまとは簡単にお目にかかれる状況にはまだありませんが、オンラインを利用するなどして新たな支部活動を試みたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「大切にしたい、人の繋がり」



もりかわ
森川 由衣
保育科41期

私は、札幌大谷学園で多くの時間を過ごしています。保育科、保育専攻科を卒業した後、附属幼稚園に就職し、今年度から保育科の講師として勤務しています。私がこれまでどうにか頑張つてこられたのは、さまざまな人の支えや繋がりがあったからです。

附属幼稚園では、学生時代に実習で接した子ども達の卒園に関わる事ができました。保育科では、附属幼稚園でクラス担任をしていた子に再会し、成長した姿を見ることができて、嬉しく思いました。

保育科講師となった現在は、講師の視点から、学生が附属幼稚園で実

習を頑張っている姿や、大学で友だちと楽しく過ごしている姿など、色々な面を見ることができました。また、より深く関わることの喜びを実感しています。

学生が子ども達と一生懸命にかかわっている姿から子どもが好き、子どもが可愛くて仕方がないという純粋な気持ちを感じ、パワーをもらっています。また、私自身も原点に立ち返り、自分を見直すきっかけになっています。

これからも人との繋がりを大切にしていきながら、札幌大谷の学生とともに学び、成長していきたいです。



「大学で学んだことを伝えたい」



あびこみなみ
安孫子美波
音楽学科12期

もう、二年目。まだまだ、二年目。月日の流れをこれほど早く感じたことはありません。担任、部活、教科指導……どれもこれも未熟な私をあたたい先輩教員方や穏やかな生徒たちに支えられ、恵まれた環境のもと充実した日々を送っています。念願だった高校教員でしたが、楽しいことばかりではありませんでした。

一番苦しかったのは吹奏楽部でした。顧問が前任者から私になり、部活のスタイルも当然変わったことで当時の二、三年生からの不満やずる休みが増えたことにとっても悩みました。

努力を惜しまなければ必ず結果がついてくること。そして、常に仲間を思っ

て演奏すること。しつこく生徒たちに伝えました。専門的な知識・技術はもちろんのこと、人との関わり方や努力を惜しまない大切さ、これらすべてが音楽に通ずることを私は札幌大谷大学で過ごした四年間で知っていききました。自分の経験信じ、揺るぎない信念をもって指導し続け、昨年度のアンサンブルコンテストでは、生徒にとつて初めての金賞を受賞することができました。そういった成功体験から、生徒たちの練習の取り組み方に主体性が生まれ、物事の見方・考え方に変化が起き、私自身も教員としてのやりがい強く感じました。

音楽を通して生徒の成長を自分の手で感じられるこの職に私は誇りを持っているし、札幌大谷大学での学びがあったからだと思っています。まだまだ失敗はたくさんありますが、常に学ぶ姿勢をもってパワー全開でこれからも駆け抜けていきます。

「続けるために楽しむこと」



土井 孝弥
美術学科4期

現在は漫画の執筆活動を始め、高校、専門学校、母校である札幌大谷大学で非常勤講師をさせていただいております。

漫画の活動の方は、編集者さんと連載に向けた企画を練っており、製作を続けていますが、やはり道のりは厳しく険しく、挫けそうになる時もあります。好きで始め、自分で選んだ道であれど、お仕事として執筆する以上様々な壁があります。何度も壁にぶつかっていると、絵を描くこと自体が嫌になる時期もありました。

そんな中、講師のお仕事もするようになってから新たな心境の変化がありました。私は生徒に指導をする際「楽しんで描くことが大切」と繰り返して指導しています。という



も画力を向上する上で最も大切なことは才能でもセンスでも努力でもなく、モチベーションだと思っています。どんなに絵が上手い生徒、作家であってもモチベーションがなければ絵を描くこと自体をやめてしまいます。楽しいから続けるではなく、続けるために楽しむことも大切だと思うようになりました。

生徒に対しての言葉がそのまま自分への戒めになり、初心に立ち返る良い機会になりました。改めて創作を楽しむ心を思い出し、今後も精進していきたいと思えます。

「リアルな経験だからこそ」



丸 猛
地域社会学科1期

卒業して六年が経ちました。現在は道内ゼネコンで主に新卒採用の仕事をしています。

褒められた学生生活ではありませんでした。地域社会学科での学びは充実したものでした。社会人基礎力を養う授業や、ゼミ活動におけるラジオ番組制作、高校来の仲間とサッカー部を創設した経験など。挙げればキリがありませんが、その多くが今振り返った時に、周りとは自分を差別化する貴重でリアルな経験だったことに気がきます。

新卒採用の仕事で就活生から話を聞くと、コロナ禍で学生がリアルな経験をする機会が失われているように感じます。オンライン化の加速によりリアルな経験の機会は減少し、必要性は低くなるかもしれませんが

が、その価値が薄れていくのは寂しいことです。

学生時代、先生方の研究室を訪問して膝を合わせながら何てことない話をしたことを思い出します。直接会うことでしか経験出来なかった思い出が、今の自分の人生に深みを出してくれています。

当時を懐かしむ一方で、年月の経過にも驚かされ、今では趣味のサッカーをしても気持ちに身体が付いていきません。先生方には怒られるかもしれませんが、歳をとったなあと思うこの頃です。



第 43 回谷の音会コンサート 令和 3 年 11 月 7 日 (日) キタラ小ホール



同窓会ギャラリー

本学食堂に展示



1. フランス人形



2. 秋の便り



3. 緑色のクッション



4. かぼちゃ

安西 記子 (美 14)

会費の納入方法について

※平成 26 年度より
改正になりました

【平成 26 年 4 月 1 日入学生から】

終身会費 20,000 円は納入済みですので、今後納入していただく会費はありません。
振込用紙の金額欄は「*****」となっています。

【平成 25 年度以前の卒業生】

会費納入について ① ②のどちらかを選択してください。

① 終身会費 20,000 円を納入

振込用紙の金額欄に 20,000 円とご記入の上、納入してください。
一度納入していただいた方の振込用紙の金額欄は「*****」となっていますので、
終身会費の再度の納入、年会費 1,000 円の納入の必要はありません。

② 年会費 1,000 円を毎年納入

振込用紙の金額欄に 1,000 円とご記入の上、納入してください。
複数年分を一度に納入して次年度以降の会費とすることはできません。
複数年分を納入していただいても返金することはできませんので、ご注意ください。

振込用紙は、同窓会日より郵送時の宛先を兼ねております。
そのため、平成 26 年 4 月以降に入学された方および終身会費を納入いただいた方にも同封されます。
すでに終身会費を納入していただいた方には、振込用紙の金額欄に「*****」と記載されております。
今後会費を納入していただく必要はありません。
※電信振込の方は備考欄に学科と期をご記入ください。

同窓会の会計は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを今年度とします。

会費を納入される際は、納入時期にご注意ください。

例) 10 月 1 日に 1,000 円を納入、翌年 1 月 31 日に 1,000 円を納入の場合、同じ年度に 2 度納入していただいたことになります。
次年度分として取り扱うことはできませんので、納入時期にご注意ください。

住所・氏名等 変更申込手続きについて

住所・氏名等に変更がございましたら、こちらの QR コードを読み込んでいただき、住所変更等申込フォームに必須事項をご入力ください。
入力後は「確認画面に進む」ボタンを押していただければ登録作業は完了となります。



同窓生数

同窓生数計 15,294 名

保育科 5,649 名
(専攻生含む)

芸術学部音楽学科 5,396 名
(旧音楽科、音楽学部、芸術学部、研究生含む)

芸術学部美術学科 3,932 名
(旧美術科、芸術学部、専攻生含む)

社会学部地域社会学科 317 名

3 月 11 日
2023 年
(令和 5 年)

卒業式 出席予定
大学・短期大学部

9 月下旬
第 46 号同窓会日より
「OTANI」発行

5 月 22 日
令和 4 年度
同窓会総会

4 月 3 日
入学式 祝花を贈る
大学・短期大学部

2022 年
(令和 4 年)

2022 年度(令和 4 年度)
事業並びに活動予定

札幌大谷大学同窓会 設立 60 周年記念懇親会

日時 2023年8月11日(金・祝)
11時～14時

会場 ホテル札幌ガーデンパレス
〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目
tel 011-261-5311

2021 年度収支決算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

収 入 16,743,105円 札幌大谷大学同窓会真心会
支 出 8,895,532円
差引残高 7,847,573円 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
入 会 金	2,220,000	2,560,000	△340,000	大学 219名 短期大学部 98名
会 費	4,500,000	5,710,000	△1,210,000	大学・短期大学部在学学生(231名) 4,620,000円 卒業生 1,090,000円
雑 収 入	0	234,685	△234,685	コンサートチケット代、札幌市補助金、預金利息
前年度繰越金	8,238,420	8,238,420	0	
合 計	14,958,420	16,743,105	△1,784,685	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
同窓会便り発行費	500,000	401,500	98,500	第45号印刷費(7,600部)
同窓会便り発送費	900,000	630,924	269,076	// 発送費(7,600通)
消 耗 品 費	220,000	28,856	191,144	事務用品・衛生用品・プリンターインク代等
活 動 費	600,000	172,420	427,580	役員活動費、交通費
通 信・連 絡 費	250,000	151,969	98,031	総会案内、資料等発送費、電話代
印 刷 費	400,000	178,428	221,572	総会案内印刷、封筒、コピー代
会 議 費	400,000	103,209	296,791	総会、役員会等費用
慶 弔 費	200,000	125,900	74,100	各学部イベント及び卒業式祝花・香典など
補 助 費	500,000	210,000	290,000	各支部会員数別加算費
デ ー タ 管 理 費	150,000	112,200	37,800	名簿データベースメンテナンス
卒 業 記 念 品	500,000	250,000	250,000	卒業記念品
支 部 関 連 費	500,000	0	500,000	支部会議・交通・宿泊費等
行 事 費	1,500,000	358,613	1,141,387	谷の会展案内印刷、谷の音会コンサート関連
備 品 費	100,000	0	100,000	
雑 費	2,238,420	171,513	2,066,907	終身会費重複納入者返金、振込手数料、その他
積 立 金	6,000,000	6,000,000	0	
寄 付 金	0	0	0	
合 計	14,958,420	8,895,532	6,062,888	

今年も無事に同窓会だよりをお届けすることができました。編集にあたりご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

名誉会長 千葉 潤 (学長)
役員 小原 明美 (短音14期)
会長 佐藤 潤子 (短音12期)
副会長 山口 由美 (保19期)
会 計 森 谷 直美 (短音33期)
会 計 山 口 由美 (保19期)
書 記 長 尾 愛 (保29期)
書 記 今 野 くる美 (短音33期)
書 記 笹 木 詩 穂 (大美2期)
会計監査 佐 武 美 香 (保24期)
会計監査 引 地 玲 (短音44期)
支 部 長 泉 洋 子 (短音12期)
釧路支部長 植 松 恵 (短音13期)
十勝支部長 小 森 洋 子 (短音12期)
オホーツク支部長代理

令和4年度真心会本部